



# 大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2024年7月17日(水)  
第26巻第 3号

通巻第1077号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail : rc@oamirotary.com



## 本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 石田 英世  
幹事報告 幹事 高野 祐二  
プログラム  
大塚和良会員ご紹介  
神道研究家 木村 和彦 様

## ニコニコBOX

古西弘和ガバナー補佐様より  
高野幹事

本日は、古西ガバナー補佐、クラブ訪問ありがとうございます。  
所用により欠席致しますが、今年度のグループ内の行事に出来るだけ協力をさせていただきます。  
よろしく願い致します。  
大越将司会員  
日曜日に空手の大会が無事終了しました。チャリティ頂きました皆様、ありがとうございます。

例会日	7月10日	6月26日
会員数	30	31
出席	16	19
欠席	14	12
M U	0	0
免除	6	8
出席率	73%	87%

## 会長挨拶

石田 英世 会長



みなさん、こんにちは

本日は古西ガバナー補佐の第1回目のクラブ訪問です。後程今年度の2790地区および第7グループの方針等のお話をさせていただきますので、皆様しっかり聞いて下さい。

今日は「内助の功」という今や死語となりつつある言葉についてお話いたします。

「内助の功」とは、ある人の成功を身内が陰で支えることや、その功績を意味する慣用句で、必ずしも夫を支える妻のことだけを表すものではありませんが、一般的に妻の働きを表す言葉として使われます。

内助の功の語源とされているのが、土佐藩初代藩主となった山内一豊の妻・千代の逸話です。千代は一豊のために、実家から嫁入りの際に持参したお金を使って、立派な馬を用意しました。

その馬が「馬揃(うまぞろえ)」と呼ばれる行事の際に、主君である織田信長の目に留まり、それがきっかけで一豊は出世街道を登り始めることになったのです。

千代が良馬を購入するというサポートをしたからこそ、一豊の出世につながったと考えられ、この話から「内助の功」という言葉が生まれたといわれています。

昭和の時代、「内助の功」をたたえる美談がよく登場し、ついには政策をも動かして、1987年「配偶者特別控除」が創設されるときのうたい文句は「内助の功に報いる」ということでした。

しかし、いまや妻も外で働き、夫が家庭内で仕事をするなど働き方が多様化しているなかで、「内助の功」の意味も、旧来のジェンダー観を超えて変化していかなければなりません。

当クラブも、一人一人が「思いやり」を持ってメンバーそれぞれが気持ちよく仕事ができるようにサポートができれば、それが内助の功といえるのではないのでしょうか。



2790 地区、ガバナー補佐を務めさせて頂いております古西と申します。

大綱ロータリークラブさんに訪問するのは私の記憶だと 9 年前になるかと思えます。当クラブの土屋ガバナー補佐の時に補佐幹事をやらせて頂きましたので、その時以来約 9 年ぶりになります。

大綱ロータリークラブさんとは四之宮さんがガバナー補佐の時から 3 クラブのゴルフコンペという形で一緒に親睦を深めさせて頂いており、これも 15、6 年になるかと思えます。

その頃から比べると諸先輩方も年齢を重ねられ、あの頃は私も 40 代だと思えますが、無事還暦を迎えられる事ができました。

今までお付き合い頂きありがとうございます。

第7グループはクラブ数が8クラブあり最多でございます。北は横芝から南は大多喜まで片道 70 キロあり、行きに 1 時間半、往復で 3 時間かかります。

8 クラブ年 4 回訪問する事になっており、そのほかガバナー補佐会議、セミナーと 2 ヶ月 3 ヶ月ロータリー漬けの日々を送っています。

寒郡ガバナーは地区テーマを持たないという事でございます。

主役はクラブであり、地区では各クラブをいかにサポートし良いクラブにして行くかという事を目標にしたいとの事です。

なお、My ROTARY へのご登録のご協力をお願い致します。

ロータリーについて学ぶ事ができますので是非活用して頂ければと思います。

## 会員卓話

高山 義則 会員

### 国際ロータリークラブに参加して



5 月 20 日～28 日にかけて、シンガポールで開催されました、国際ロータリークラブに参加しましたので、ご報告致します。

5 月 20 日、小高前会長夫婦に羽田空港まで送っていただき、夜 11 時の便で出発しました。飛行機代を浮かすため、シンガポール経由バンコク行の飛行機で行きました。吉原会員には費用の面とか手配から日常の会計等、いろいろな面でお世話になりました。

5 月 21 日の朝バンコクに到着し、タクシーでホテルに向かいましたが、バンコク市内は前に来た時と同じで、交通量は、相変わらず凄く混雑していました。

5 月 22 日、チャオプラヤ川のディナークルーズは素晴らしかったです。船上で食べるタイ料理と生ビールが大変おいしかったです。船上から見る街の景色や、低い橋の下をくぐったり、綺麗なつり橋をくぐったり、また、途中、雨が降ってきたので下の階にジョッキを片手に移動しました。下の階は雨を予想して、船上の席がそのまま移動できるように開けてありました。さぞ高い船賃であったと思います。このフロアではタイの有名歌手のショーもあり、地元のお客さんはノリノリで踊っていました。

5 月 23 日、バンコクにあるビール工場で生ビールとショーを楽しみました。早い時間だったので空席が見られましたが、全て予約で一杯でした。ビールを頼んだら直径 20cm 高さ 1m 位のガラス瓶の様な器で持ってきました。これを 2 杯程飲みました。30ℓ位だと思います。ショーは、歌の言葉が分からず、遠くて良くわかりませんでしたが、楽しく飲めました。

5 月 24 日、この日はバンコクからシンガポールへ移動しました。街はとても綺麗で、ゴミは一つも落ちていませんでした。植栽も良く管理されていました。日本よりも綺麗に感じました。

ホテルは狭く小さな部屋でした。バスは無くシャワーのみでした。ロータリアンが大勢来て良いホテルが取れなかったようです。夕飯を食べにホテルの前にあったレストランの様な店に入りました。本当はテイクアウト専門の店のようでした。頼んだ料理を持ち帰りの袋に入れて渡されました。ここで食べると言って袋から出してもらい、お店で食べましたが、意外においしく食べられました。

5 月 25 日、この日は大会会場であるコンベンションセンターに行って受付を行いました。スムーズとは行きませんでした、無事にネックプレートを貰うことが出来ました。

5 月 26 日、国際大会の会場はマリーナベイ・サンズの前にあるサンズエキスポコンベンションセンターです。この建物は地下 4 階、地上 4 階の大きなショッピングセンターの中にあります。開始は 10 時からなので、齋藤会員の知り合いの弟さんと、現地駐在員をしている泉さんが、ホテルまで迎えに来られ、マラーイオン像の所まで送迎していただき、マリーナ湾の周囲を散策しました。

その後、コンベンションセンターに行きました。セキュリティが厳しく、会場に入るまで 4 回名札のチェックを受けました。30 分前に会場に着きましたが、もう一杯で座る席がありませんでした。しょうがなく立っていましたが、参加人数は分かっているので、人数分の席は確保してもらいたかったです。高い会費 7 万 5 千円を払っているのに、200 名以上は立っているか、床に腰を下ろしていました。開始時間になり、司会者が進行を進めましたが、言葉が分からないので雰囲気だけ味わいました。その後、参加国の国旗が出て来て会場内を周回しました。

日本がアナウンスされると、ひと際大きな拍手が起きました。世界から約 20,000 人の人が参加していましたが、日本からの参加が一番多かったと思います。

その後、泉さんに来てもらい、市内を散策しました。日曜日でしたので、市内は近隣の国から出稼ぎにきた人で賑っていました。

泉さんご夫婦には 2 日間、大変お世話になりました。最後には、空港まで送っていただき感謝感謝です。

